



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月15日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 室長 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,593	22.5	1,743	174.1	1,757	159.7	1,238	159.6
2022年3月期第1四半期	7,013	19.7	636	225.3	676	275.9	476	182.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,566百万円 (268.8%) 2022年3月期第1四半期 424百万円 (133.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	113.19	-
2022年3月期第1四半期	43.59	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	36,429	24,030	66.0	2,196.61
2022年3月期	34,770	22,729	65.4	2,077.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 24,030百万円 2022年3月期 22,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	20.00	-	24.00	44.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	28.00	-	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	6.9	5,000	28.3	5,000	21.2	3,500	10.9	319.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	11,554,200株	2022年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	614,377株	2022年3月期	614,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	10,939,823株	2022年3月期1Q	10,939,914株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による中国のロックダウン、各国のインフレ抑制に向けた金融引き締めの影響、ウクライナ情勢およびこれを起因とした世界的な資源価格の高騰などが継続し、日本国内においては、急速な円安による経済への悪影響など、先行きの不透明感が続いています。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、中国のロックダウンの影響を受けながらも、5G、IoT、DXの進展とデータセンター需要の拡大を背景に、堅調に推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、マーケットインの発想に立脚した、差別化のできる高付加価値な汎用製品、及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めました。
- ・品質向上とコスト削減を両立させるべく、製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、協力会社や製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと安定供給、納期対応の実現を進めました。
- ・営業活動においては、オンラインを活用しながら、各地域に密着した活動を継続し、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の維持に努めました。
- ・製品需要に対しては、中長期的に、世界的な半導体需要が継続することが予測されるため、生産力を確保するべく、更なる設備投資を推進しております。
- ・当社のビジネスの成長を加速させるため、超低損失と低価格の両立が期待されるβ型酸化ガリウムを使用したパワーデバイスの開発を行う、株式会社ノベルクリスタルテクノロジーに対して追加出資を行い、新製品開発に関しても、様々なフェーズにおける活動を進め、連携を深めました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・フェニテックセミコンダクター株式会社においては、製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上に加え、半導体需要の高まりに対応するため、岡山第2工場の岡山第1工場への統合作業の完了を延期し、岡山第2工場での生産を継続しながら、岡山第1工場・鹿児島工場において、更なる投資を進めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高85億93百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益17億43百万円（前年同期比174.1%増）、経常利益17億57百万円（前年同期比159.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億38百万円（前年同期比159.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間における日本事業は、主にAV機器分野向けや産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は56億97百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は14億87百万円（前年同期比164.8%増）となりました。

②アジア

当第1四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主に車載機器分野向けや産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は20億96百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益は1億79百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

③欧州

当第1四半期連結累計期間における欧州事業は、主に産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は5億18百万円（前年同期比114.5%増）、営業利益は89百万円（前年同期比337.0%増）となりました。

④北米

当第1四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は2億80百万円（前年同期比81.3%増）、営業利益は62百万円（前年同期比253.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は264億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億22百万円増加いたしました。増加の主な要因は、売上高増加に伴い受取手形及び売掛金が3億11百万円増加したこと、将来の半導体需要に備えて棚卸資産が9億7百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は100億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社子会社において製品の増産体制を構築すべく新規設備を導入したことにより、有形固定資産が2億27百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、364億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億59百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は77億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億28百万円減少いたしました。減少の主な要因は、法人税等の納付を行ったことにより未払法人税等が9億22百万円減少したこと、一部借入金の借り換えにより短期借入金が5億円減少し1年内返済予定の長期借入金が2億50百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は46億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億86百万円増加いたしました。増加の主な要因は、増産体制構築にかかる資金調達を主な目的として追加借入を行った結果、長期借入金が15億円増加し、SDGs評価型私募債の発行により社債が1億円発生したことによるものであります。

この結果、負債合計は、123億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億58百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は240億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億1百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は66.0%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,219,751	10,303,950
受取手形及び売掛金	5,916,777	6,228,170
棚卸資産	8,197,630	9,104,719
その他	552,662	769,864
貸倒引当金	△6,373	△3,909
流動資産合計	24,880,449	26,402,795
固定資産		
有形固定資産	6,613,258	6,840,285
無形固定資産	777,120	725,099
投資その他の資産		
その他	2,528,505	2,494,136
貸倒引当金	△29,015	△32,398
投資その他の資産合計	2,499,489	2,461,737
固定資産合計	9,889,868	10,027,123
資産合計	34,770,317	36,429,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,720,227	1,635,835
短期借入金	2,400,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	950,000	1,200,000
未払法人税等	1,242,667	320,012
契約負債	30,044	18,518
賞与引当金	571,792	153,943
役員賞与引当金	45,000	42,980
その他	2,017,741	2,477,921
流動負債合計	8,977,473	7,749,211
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	2,412,500	3,912,500
退職給付に係る負債	383,131	392,334
株式給付引当金	75,883	82,002
その他	192,052	163,341
固定負債合計	3,063,567	4,650,179
負債合計	12,041,040	12,399,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,299,941	8,299,941
利益剰余金	11,817,830	12,791,404
自己株式	△750,278	△750,278
株主資本合計	22,335,428	23,309,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△111,934	△51,673
為替換算調整勘定	353,682	624,702
退職給付に係る調整累計額	152,101	148,497
その他の包括利益累計額合計	393,849	721,526
純資産合計	22,729,277	24,030,528
負債純資産合計	34,770,317	36,429,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,013,829	8,593,789
売上原価	5,072,018	5,419,092
売上総利益	1,941,811	3,174,697
販売費及び一般管理費	1,305,780	1,431,653
営業利益	636,031	1,743,043
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,824	12,388
為替差益	27,143	—
受取賃貸料	9,564	10,618
その他	7,504	4,817
営業外収益合計	53,036	27,824
営業外費用		
支払利息	9,583	8,489
為替差損	—	551
支払手数料	2,000	2,000
その他	813	2,525
営業外費用合計	12,396	13,567
経常利益	676,671	1,757,301
特別損失		
固定資産除売却損	3,524	3,441
特別損失合計	3,524	3,441
税金等調整前四半期純利益	673,146	1,753,859
法人税等	196,205	515,517
四半期純利益	476,941	1,238,341
親会社株主に帰属する四半期純利益	476,941	1,238,341

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	476,941	1,238,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,116	60,261
為替換算調整勘定	△1,794	271,019
退職給付に係る調整額	△3,417	△3,603
その他の包括利益合計	△52,328	327,677
四半期包括利益	424,612	1,566,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,612	1,566,019

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
顧客との契約から生じる 収益	4,862,807	1,754,483	241,572	154,965	7,013,829	—	7,013,829
外部顧客への売上高	4,862,807	1,754,483	241,572	154,965	7,013,829	—	7,013,829
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,857,511	143,125	9,167	10,399	2,020,204	△2,020,204	—
計	6,720,318	1,897,608	250,740	165,365	9,034,033	△2,020,204	7,013,829
セグメント利益	561,822	121,900	20,413	17,764	721,900	△85,869	636,031

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△85,869千円には、セグメント間取引消去△85,869千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	5,171,025	1,197,754	382,836	262,212	7,013,829

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
顧客との契約から生じる 収益	5,697,914	2,096,869	518,071	280,934	8,593,789	—	8,593,789
外部顧客への売上高	5,697,914	2,096,869	518,071	280,934	8,593,789	—	8,593,789
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,401,959	174,355	9,521	16,852	2,602,688	△2,602,688	—
計	8,099,873	2,271,225	527,593	297,787	11,196,478	△2,602,688	8,593,789
セグメント利益	1,487,430	179,239	89,200	62,776	1,818,646	△75,603	1,743,043

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△75,603千円には、セグメント間取引消去△75,603千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域（デザイン・イン・ベース）の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	6,001,891	1,431,823	686,760	473,313	8,593,789